

令和 7 年度学校評価アンケートの結果報告

12月にデジタル機器を使って保護者の皆様をお願いいたしました学校評価アンケートは、497件の回答をいただきました。ご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。（回収率は今年度83% 昨年度82%）

集計がまとまりましたのでご報告いたします。皆様からいただいたご意見を次年度の学校経営、教育活動の改善・充実に生かすべく検討をし、改善策をお示しさせていただきます。

(※網掛けは80ポイント以上)

【保護者・教職員アンケート 3年間比較】		保護者			教員		
	設問（スペースの都合上、一部簡潔にしています）	<u>R7</u>	R6	R5	<u>R7</u>	R6	R5
1	子供は、楽しく学校生活を送っていますか。	91.0	92.0	89.7	88.8	94.0	92.0
2	子供は、あいさつが身に付いてきていますか。	80.0	80.5	81.0	55.0	63.0	68.0
3	子供は、礼儀や基本的生活習慣が身に付いてきていますか。	81.8	81.0	79.8	68.8	71.0	73.0
4	子供は、思いやりの気持ちが育っていますか。	88.7	88.8	88.4	80.0	79.0	92.7
5	ぴかりンピック等の行事を通して、子供がみんなで活動する楽しさを味わえていますか。	93.9	94.7	92.4	93.8	95.0	99.0
6	学校は、子供の悩みや保護者の相談にきちんと対応していますか。	88.3	89.4	85.8	95.0	93.0	95.0
7	子供は、読書していますか。	64.0	66.3	67.2	78.8	82.6	81.3
8	子供は、意欲的に、粘り強く学習に取り組んでいますか。	71.7	71.8	73.9	76.3	82.3	84.0
9	授業内容は、児童に分かりやすく工夫されていますか。	88.9	90.8	90.2	88.8	88.5	87.0
10	子供たちの学力や学習への取組の状況について伝わっていますか。	82.0	83.4	80.8	91.3	88.0	87.0
11	子供は、きたコンを活用した学習に取り組んでいますか。	68.1	68.8	69.6	96.3	82.0	95.0
12	子供は、宿題や課題等に取り組んでいますか。	90.9	92.1	87.0	77.8	80.7	79.5
13	子供は、体を動かして遊んだり、運動したりしていますか。	78.5	81.6	76.7	80.0	86.0	87.0
14	学校の取組は、子供の体力向上や健康な生活につながっていますか。	86.4	88.0	85.9	86.3	82.3	87.0
15	学校の取組は、食への関心につながっていますか。	87.1	90.3	89.4	91.3	91.0	90.0
16	学校は、健康診断の結果や病気の予防について必要な情報を伝えていますか。	92.2	93.6	92.7	92.5	96.0	96.0
17	子供は、交通ルールを守り、安全に過ごしていますか。	92.5	91.4	91.3	83.8	83.0	78.0
18	災害や不審者、事故などに対する訓練や取組は、適切に行われていると思いますか。	93.3	93.6	89.5	93.8	95.0	99.0
19	学校の施設・設備は安全で、よく整備・管理を施していますか。	96.2	96.2	95.2	96.3	94.0	97.0
20	学校は、教育目標や経営方針、教育内容等の情報を伝えていますか。	93.3	93.3	91.4	91.3	95.0	93.0
21	配信メールや「まなびポケット」を使った学校からのお知らせは、必要な情報を伝えられていますか。	93.2	91.3	88.0	95.0	97.0	96.0
22	保護者会や個人面談では、保護者と情報の共有ができてい	93.2	93.9	93.6	98.6	98.9	94.3

	ますか。						
23	学校は、保護者が情報を得る手段を講じていますか。	93.5	92.8	92.6	98.8	97.0	93.0
24	学校は、地域と保護者と連携をして活動していますか。	91.6	91.5	93.1	93.8	90.6	94.0
25	学校の電話や来客対応は、よいと思いますか。	94.1	94.1	95.4	82.5	85.0	86.5

【集計方法】 4、あてはまる 100 ポイント 3、少しあてはまる 75 ポイント 2、あまりあてはまらない 25 ポイント
 1、あてはまらない 0 ポイント とし、その合計ポイントを、有効集計数で割って求めています。
 $(4 \text{ の総数} \times 100 + 3 \text{ の総数} \times 75 + 2 \text{ の総数} \times 25 + 1 \text{ の総数} \times 0) \div (\text{集計数} - \text{無効数})$
 ※中位数は、50 ポイントになります。

【保護者・教職員アンケートからの課題・改善】



2 あいさつについて

子供たちは家族や顔なじみの方々に対しては挨拶をしていると思われます。一方で、登下校時にお世話になっている交通指導員、校舎内での教職員などに対する挨拶には課題があるようです。学校では、全校の取組として、毎月2日間あいさつDAYを行い、学校生活全体を通して、すすんで挨拶ができるように日常的に指導をしています。ぜひ、ご家庭でのあいさつが学校・地域へ広がっていくようお声掛けください。

7 読書について

学校では、読書タイムやPTA読書ボランティア「さくらんぼの会」・北区お話の会の方による読み聞かせなど本に親しむ時間を確保しています。昨年度から夏休みにも学校図書館を開放し、本に親しむ機会を増やしています。また、PTA読書ボランティア「どんぐりの会」の方には、児童が多様な図書に触れるように、学校図書館の環境を整備していただいています。毎年10月に行われる読書月間では、図書委員会の児童が読書月間の取組として、「いろいろな分野の本を読もう」とビンゴカードを作ったり、本の福袋を用意したりして読書への関心を高める活動をしました。

普段の学習の中では、学習内容に関連する図書資料を学校図書館や公共図書館よりお借りして各学年に分配しています。各学級には、学級文庫を2ヶ月に1回入れ替える取組を実施しています。

これらの活動により、学校図書館の利用率も毎月徐々に増やすことができました。今後も、読書の楽しみを広げ、児童が1冊でも多くの本を手にとれるように関心を高めていくための活動をすすめていきます。

11 タブレット学習について

現在、積極的にきたコンを授業で活用し、表現方法の1つとして、きたコンを使うことができるよう低学年から指導に取り組んでいます。「スクールタクト」や「ロイロノート」の活用では、自分の考えを友達に発信したり、友達の考えと自分の考えを比べて考えたりする学習を行っています。きたコンで撮った動画や写真の活用では、学習を振り返り、できるようになったことや課題を見付ける活動も行っています。3年生以上の児童は、タイピング学習にもすすんで取り組んでいます。また、情報モラルに関する指導も各学年の発達段階に合わせて行っています。

今後も、学習の中できたコンを活用する機会を積極的に設け、学習を深めるためのツールとして日常的に活用することを目標に取り組んでいきます。

13 運動について

天候によって外遊びができる日が限られたり、児童数の増加に伴って遊べる場所が限られたりしたこと、外遊びよりも中遊びを好む児童が多くなってきたことなどが、ポイントが下がった要因であると考えられます。学校では、できる限り天気の良い日は校庭に出るように声掛けしています。また、昼休みも校庭や体育館で体を思いっきり動かせるように1～3年、5組の前半と4～6年の後半の2交代で行っています。寒くなる冬場には、RJWと称した縄跳び週間を設定し、ぴかいち長縄チャレンジの取組を行っています。今後も児童がすすんで運動に取り組めるような活動や環境づくりを考えていきたいと思ひます。ご家庭でも、放課後や休日に運動する機会を作ったりしていただけたらと思ひます。

【お寄せいただいたご意見】（一部抜粋）

tetoru に関して

- ▲上記の項目以外ではないのですが「まなびポケットによる「今日の給食」配信」は子供のタブレットでしか見られず、新たなアプリ tetoru では配信されなくなったのが残念です。給食を見るために、子供にいちいち「見せて」というのは、さすがにはばかれます。子供に聞くと、栄養士の先生が日々配信しているようですので、保護者も見られるように改善して欲しいです。他の学校情報も、まなびポケットの時のほうがきめ細やかな情報配信がされていた気がします。お忙しいとは思いますがご検討頂けますと幸いです。
- ▲学校の話ではないのですが、tetoru になってからお知らせが埋もれてしまい、必要な情報にアクセスしづらくて困っています。以前のまなびポケットは、発信者ごとにフォルダ分けがされていたので、確認したい時に探しやすかったです。同じような仕様に変わらないものなのでしょうか？
- ▲暗くなって来たので不審者情報があれば tetoru でも配信してほしいです。こちらも子供に指導する事が出来ますし、中学校でも近隣小学校からの情報で通学路に不審者が出たと配信された事があり、ファミリー校で情報共有する事で、より広い地域区域で連携し安全な街づくりになるとと思います。

【学校より】

まなびポケットの保護者用アカウントが使用できなくなり、以前との違いが出てご不便をおかけしています。新しく運用を始めた tetoru については、学校でも運用の仕方について検討をしています。配布物の電子化などについては、可能なところから改善していけるように、組織づくりを進めていきます。

tetoru については、北区の運用マニュアルを基にして、王子第一小学校では、『重要度の高いもの・緊急性の高いもの』などについて配信をするように運用しています。不審者情報など、児童の安心・安全に関することなども、今後配信をしていくように検討していきます。「今日の給食」については、お子さんのきたコンで一緒にご覧いただき、ご家庭での話題にしていいただければと思います。

tetoru のシステム上の使用については、学校単位で改善することが難しいです。担任への連絡事項がありましたら、連絡帳でお知らせください。

きたコンに関して

- ▲ノートパソコンにつきましては、毎日重いランドセルに入れての持ち帰りが少し負担になっているようです。持ち帰らない時は連絡帳に記入するように声をかけていますが、書く時間がとれないとのことで翌日の宿題や持ち物がわからない状況が多くなっています。本人にも注意しましたが、連絡帳に書く方が良かったと言っています。他学校では iPad を使用して連絡帳代わりにしているようで、重さの負担はないようでした。キーボードの練習など気軽にできるのはノートパソコンならではのようです。
- ▲きたコンを学校で充電できる場所を拡充してほしいです。持ち帰り必須ならば、もっと制限をかけて学校の授業と関係ないものに関して（YouTube など）を見られなくしてほしいです。

【学校より】

きたコンの使用について、学校でも効果的な活用ができるよう日々使い方を考えています。また、児童の発達段階に応じて使う頻度も変わってきていますが、今後充実した学習ができるよう授業での活用も増やしていけるよう努力していきます。学校でも使い方や使う内容について指導していきます。

きたコンの制限等についてのご意見が多く挙げられました。4月の保護者会で配布した「王一小きたコンのルール」を使って学校では放課後や家庭での使用について指導しています。決まった時間以降には使わない、充電は自室ではなくリビングなどで行うなど、お家でのルールを確かめ、約束が守れるようお声掛けいただけると助かります。きたコンの充電は人数の問題などもあり、ご家庭でしていただくようお願いをしています。鉛筆を削る、持ち物を用意するなどと同じように、「明日の学校の準備」として、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

これからの社会は、情報端末とは切り離せない時代です。使うと便利な道具でも、使い方を間違えると本来の効果も期待できません。約束やルールを守りながら、よりよい使い方ができるように指導していきますので、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

学校でのきまりに関して

▲ランドセルにキーホルダーをつけてはいけないというよくわからないルールがあり、理由が全く理解できません。どの小学校でも聞いたことがありません。私が子供の頃からそんなルールを設けている学校は見たことがありません。子供のちょっとしたテンションの上がる楽しみを何故取るのか分かりません。保育園や幼稚園でもそんなところはないです。すぐにどうにかしてほしいです。

▲6年間箱型タイプの筆箱もわかりません。低学年は箱タイプでいいと思いますが、チャックタイプがダメなのは为什么呢？学年が上がるにつれて定規やコンパスや色々入れるものが増えてきます。何のためにそんなものを推奨しているのか理解に苦しみます。そういう所は必死に一生懸命やっているのに授業が前の小学校より遅れているのは何故でしょうか？既に学校に行きたくないと言っています。すぐにでもどうにかできる内容なのでどうにかしてほしいです。結果もきちんと報告してください。誰がこういったことを決めているのでしょうか？悪いことをしている訳では無いので、改善してください。通うのが楽しい学校の場にしてください。よろしくお願いします。

【学校より】

王子第一小学校には、「学習に必要なものは持ってこない」というきまりがあります。学校という空間はたくさんの人が生活しており、物もたくさんあります。目の行き届かない場面も多いのが現状です。非常に残念な話ではありますが、学校に持ってきているものは、汚れたり、壊れたりすることが多くあります。自分のお気に入りの物が悲しい目に合う機会を少なくするために、「不要なものは持ってこない」というルールを作っています。ご理解いただけますよう、お願いいたします。

筆箱については、持ち物の管理のしやすさの観点から、入学時に箱型のものを推奨しています。できるだけ、大切に使用してほしいという願いはありますが、破損や紛失等で新たに筆箱を購入する際は、子供の実態に合わせ選んでいただけますと幸いです。学校の学習で使用するということを前提に、大きすぎる物、華美すぎる物、金型の物（落下時に大きな音がでる物）はお控えください。

登下校に関して

▲高学年（4～6年）から一人での遅刻登校も可能にしてあげてほしい。

【学校より】

遅刻・早退については、保護者の方の送り迎えをお願いしています。それは、登下校中のトラブルや、不慮の事故などから子供たちを守るためです。遅刻や早退をする時間帯では、交通指導員などがいないことが考えられます。交通事故だけでなく、不審な人や危険な人に出会ってしまった場合に、誰の目にも触れなかった場合、子供たちの安全を守ることができません。高学年であっても、子供たち一人一人の安全のために、ご理解とご協力をお願いします。

教職員の指導に関して

【学校より】

今回、教職員の指導についてご意見を複数いただきました。教員として、一人の大人として、子供たちの手本となれるよう研鑽を重ねていきます。児童との関わりについても、適切な関わり方を心掛け、誰からも安心され、信頼される指導を目指していきます。

欠席したときの学習についてのご意見もいただきました。欠席した授業の内容のフォローは、可能な限り進めていけるよう気を付けていきます。休み時間や放課後など、時間が限られてしまうため、十分にはできない場合も考えられます。ご家庭でもご協力いただけると大変助かります。

いただいたご意見は、今後の教育活動に生かしていきます。ご家庭と一緒に、子供たちの健やかな成長を目指して頑張っていきます。ぜひ、王子第一小学校の教育活動へのご協力をお願いいたします。

